

## かみくげ 恐竜の里新聞

平成二年十月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第17号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001

## 丹波市の化石工房移転・

## 拡大計画に異論！

## 上久下地域自治協議会

10月8日付神戸新聞などは山南住民センター内にある化石工房・展示施設を拡充する計画が6日夜、氷上保健センターで開かれた「恐竜を活かしたまちづくり協議会」で丹波市長、県民局長、ほか各団体代表18人が出席して説明されたことを記事にしました。

地元上久下からは自治協議会会長ほか1名が参加しました。

市側の説明によると、現在の施設は約100平方メートルの広さに「化石のクリーニング室」と模型などの展示室があるが、手狭になって団体客への対応が困難になってきている。

このことから隣接する山南支所1階に現在の7倍（700平方メートル）の広さのスペースを確保し、クリーニング室、展示室のほか、週に数回の研究員たちの研究活動を充実したり、新たに計画している骨格模型などを展示し、全体の機能を強化するためと説明しています。

市はこの計画に国の緊急経済対策交付金を総額1億3千700万円を充て

ています。

内訳は施設の移転、拡張、整備改修工事費として約7000万円、恐竜骨格模型などに約4000万円、駐車場の舗装と安全柵等工事費に約2000万円、案内・誘導看板などに670万円の支出が予定されています。

当協議会に出席した地元（上久下）委員からは「クリーニング作業、展示、研究、学習などの施設が発掘現場から離れた場所に拡大、充実させることは、地元にとっては何の益もなく、むしろ将来、発掘された跡が傷ついたまま残るだけで、地域活性化や経済対策目的とする趣旨に添わないはず。少なくとも展示施設だけは上久下に持つてくるべきだ」と反論しましたが、提案を修正させるまでには至りませんでした。

その後事前に何の相談も受けていない地元は複数の議会議員を通じて市の計画を強く批判し、再考を促したところ、市側から副市長や企画部長らが出向いて地元各団体代表と話し合い、地元意見の再検討を約束してくれました。

地元からの最低限要求としては次の通りです。

- ①産状レプリカや各部位レプリカは発見現場に近く展示するのが自然である。
- ②計画中の骨格模型など（4000万円

相当）も上久下に設置、展示して欲しい。  
③展示施設は、駐車場内に景観にそったものを新設して欲しい（大規模建築物でなくてよい）。

新しい情報は次号でもお知らせします。

工事着々と進む  
発電所跡と駐車場トイレ

10月23日現在、旧上久下発電所跡は屋根も完成し、外壁、内装も順調に改装工事が進んでいます。12月から1月にかけての完成が待たれます。また、発電所内の展示・備品設置についても、1階は映像・照明による演出で発電所の姿を感じる劇場空間に、2階はゆったりとしたスペースの展示・見学施設になる予定です。

恐竜の里駐車場に市が建設中のトイレも棟上げが終わり、12月初めの完成に向けて進んでいます。完成すれば発掘現場を訪れる多くの来訪者らに歓迎されることは間違いありません。

## 11月の予定

- ◆11月3日 地区文化祭 午前10時より地域づくりセンター
- ◆11月14日 恐竜の里づくり協議会 7時30分より





## 秋のふれあいフェスタ便り 太田・下滝自治会

### ◆太田自治会

太田自治会（西垣孝司公民館長）では10月18日秋晴れの穏やかな晴天のもと、約200人の住民が参加し、盛大にフェスタが開催されました。

一部は公民館内において写真・絵画・盆栽・華道などの文化作品のほか趣味を生かした数多くの作品が展示され、いきいきサロンの活動を記録した写真も紹介されました。

2部は大蔵神社境内に特設ステージを設け、芸能発表、大正琴・踊り・コーラス・マンドリン演奏・子供会&愛育班の合唱、水戸黄門・慧日寺縁起話などの組演劇・今後の太田を担う若者グループの???・特別ゲストによる歌謡ショーもあり、盛り沢山のプログラムとなりました。

今年は、自治会敬老事業・いきいきサロンも同時に開催され、お弁当・そば・おでん・まぜご飯・お酒も準備されました。自



治会と各種団体が力を合わせた2年に1度、8回目のフェスティバル、白井副自治会長の万歳三唱で閉会となりました。（レポーター…中西幸男自治会長）

### ◆下滝自治会

下滝自治会

（村上鷹夫公民館長）は10月11日、第16回ふれあいフェスタを開催しました。午前中恒例とな

った大蔵神社での神事の後、公民館舞台で日舞・カラオケ・フラダンスショー・ビンゴゲーム・日用品オーク



ション・餅まきなど住民全員が楽しめました。なかでも、ハワイアンフラダンスショーはフラチーム5人、バンドチーム5人の本格派を高砂市から招いて、フラの踊りを教えてもらい大きな盛り上がりを見ました。フェスティバルは企画・立案・準備・進行のすべてを地区役員だけでなく、有志若者会（高齢者もいる）が積極的に動かしており、ふれあいの看板に恥じないイベントになりました。参加願ったみなさん、高砂のハワイアンチームのみなさん、若者会のみなさんに感謝申し上げ、また来年の今年以上のふれあいを願っています。（レポーター…松原義明さん）

## 上久下少女バレー・少年野球団が健闘！

SC21上久下に加入している上久下少女バレーボールクラブが、去る9月27日、丹波市市民スポーツ大会（6年生の部）において見事優勝！ 昨年に続く2連覇で、上久下に優勝旗を持ち帰りました。

また、同じくSC21上久下の上久下少年野球団も9月5・6日の山南町少年野球招待大会において、地元3チームが1回戦敗退の中、ホストチームとして決勝までコマを進め、準優勝！

少女バレーボール・少年野球団とも立派な活躍をしています。「丹波竜のおかげかも？これからも恐竜とともに地元のみなさんの更なる応援をよろしくお願したい」と関係者は語っています。

